

事務事業評価シート

1 基本情報

1 基本情報		事業番号		040203010500		事業の種類		4	
年度	2	事務事業名	相生市観・交・商連携型地域活性化事業	予算事業名	相生市観・交・商連携型地域活性化事業	優先度	3		
まちづくり目標		未来を支える産業の活性化と環境にやさしいまち			担当部局名	市民生活部地域振興課			
施策名(中)		観光の振興を図る			担当課長	宮下 忠和	担当者名	中谷 有輝	
取組み事項		観光客を受け入れる体制を充実する			実施計画への記載			主要事業の指定	
実施計画事業名									
根拠法規及び関連法規		相生駅前総合情報発信施設設置管理条例							
事業の目的	誰のために(具体的に)		市内の観光、交通、商業者及び市民のため						
	誰(何)を対象として		市民と当市を訪れる人						
	意図(どのような状態にしたいのか)		人口減に伴う市場縮小による市内商業、交通機能(事業者)等の存続危機に対応するため、観光と連携し交流人口(ビジネス・観光客等)を活用し産業と地域の活性化を図る。						
	事業の全体年度		事業着手年度		(年度)	事業完了予定年度		(年度)	

2 事業の概要 Do

実施の概要		地域の交通拠点であるJR相生駅前の交通機能利用者(交流人口・市民)の利便・快適性を向上し適時の情報提供を行うことで、新たな商機を創出し地域の活性化につなげる。その起点施設として設置した「あいおい情報ラウンジ」を活用した広域的な情報発信を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	3年度計画
	駅前イベント実施回数	回	6	4	0	
	観光入込客数	人／年	615,600	606,867	381,919	
	相生駅乗降客数	人／日	6,850	6,579	4,576	
	神姫バス乗車人数	人／日	1,117	1,156	934	

3 投入資源

3 投入資源		会計区分			一般会計		事業費単位:円			
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	3年度予算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	0.030	100		
	参事以下職員	0.620	0.520	84	0.520	100		0		
	臨時職員	0.080	0.120	150	0.120	100		0		
支出内訳	人件費	5,200,340	4,523,509	87	4,221,647	93	357,960	8		
	事業費	6,786,872	3,925,910	58	3,853,054	98		0		
	合計	11,987,212	8,449,419	70	8,074,701	96	357,960	4		
財源内訳	国庫支出金			-		-		-		
	県支出金			-		-		-		
	市債			-		-		-		
	その他			-		-		-		
	一般財源	11,987,212	8,449,419	70	8,074,701	96	357,960	4		
	合計	11,987,212	8,449,419	70	8,074,701	96	357,960	4		

※ 事業の進捗状況

項目		30年度	1年度	2年度	3年度	
全体進捗率	事業費累計					
	進捗率					

4 評価指標

【有効性】

指標名1		あいおい情報ラウンジ来館者数							
指標説明(式)		年間来館者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	3年度(計画)	前年比	備考
人	目標	28,800	43,000	149.3	45,000	104.7		0.0	
	実績	43,035	44,906	104.3	24,572	54.7			
指標名2		あいおい情報ラウンジ特産品販売額							
指標説明(式)		特産品販売額							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	3年度(計画)	前年比	備考
円	目標	1,200,000	1,200,000	100.0	1,200,000	100.0		0.0	
	実績	1,163,794	997,832	85.7	711,884	71.3			

【効率性】

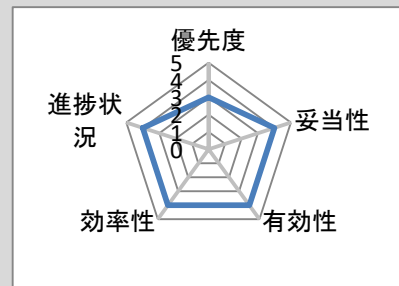
指標名1		あいおい情報ラウンジ来館者一人当たりコスト							
指標説明(式)		事業費(人件費除く)÷年間来館者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	3年度(計画)	前年比	備考
円	目標	173	160	92.5	93	58.1		0.0	
	実績	159	88	55.3	157	178.4			
指標名2		あいおい情報ラウンジ特産品販売単価							
指標説明(式)		特産品販売額÷年間来館者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	3年度(計画)	前年比	備考
円	目標	42	28	66.7	27	96.4		0.0	
	実績	27	22	81.5	29	131.8			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
妥当性	目的の妥当性	本施設は、相生市観・交・商連携型地域活性化事業の一環として交通結節点で交流人口を市内観光、交通、商業に呼び込むため市がその起点となる施設を設置したもので、その後の民間の投資や努力を促すものである。	4
	市民ニーズ	交通拠点相生駅の交通機能利用者に適時の情報提供等を行い、相生を通過点でなく、市内での飲食、交通利用、宿泊、観光等に結び付ける。	
有効性	成果目標(改善)達成度	新型コロナウイルス感染拡大の影響により、来館者数は減少したが、感染防止対策を施しながら、来館者に対して観光案内や情報提供を行った。	4
	市民サービス	施設利用者の拡大及び特産品のPRを図るため、相生かきの産地直送の通信販売の受付を行った。市外からも多くの注文があり、PRに繋がった。	
効率性	執行体制の効率性	施設内で観光案内所を運営する相生市観光協会に施設の管理運営を委託し、同じく施設内で業務を行う交通事業者の協力も受け施設運営を行うことで、より効率的で幅広いニーズに対応した施設運営を行っている。	4
	手段の最適性	JRやバスなどの交通事業者や駅前商店事業者、播磨科学公園都市の理化学総合研究所等と連携し、本施設を拠点とした交流の活性化を図れている。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	平成28年度に策定した相生市観・交・商連携型地域活性化計画に基づき、平成30年4月の供用開始以降、順調に運営を行っている。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	新型コロナウイルスの影響により、イベントの実施が難しく、民間企業との連携が図りにくい状況であった。



7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	コロナ禍においても実施可能な連携手法を検討する。

配点	32.5
総合評価	24

(2) 4年度以降の改革改善内容

区分	内容
重点事項	施設運営の目的でもある①駅前交通機能利用者の利便性の向上、②広域的な観光の振興、③駅前の賑わいづくり、④播磨科学公園都市の玄関口としての機能について、実効性のある取り組みを行っていく。
見直事項	
新規事項	
方向	継続 成果 維持 総コスト 維持